

| 授 業 目 名 | 臨 床 運 動 学 | 授 業 形 態 | 講 義 |
|--------------------|--|---------|-----------|
| | | 配 当 学 期 | 2 年 (前 期) |
| 担 当 教 員 名 | 開 發 基 文、落 合 慶 之、松 田 伍 央 | 単 位 数 | 1 単 位 |
| | | 時 間 数 | 30 時 間 |
| 授 業 概 要 学 習 目 標 | <p>〔授業概要〕 基礎運動学で学んだバイオメカニクスや関節運動学を振り返りながら、力学観点から日常生活上の動作を分析し、作業療法評価に結びつける一助とする。</p> <p>〔学習目標〕 ①動作を力学的視点で捉える ②正常動作を説明する ③正常動作を分析できる ④中枢神経疾患患者の動作を分析できる(運動障害を分析する)</p> | | |
| 授 業 回 数 | 授 業 の 内 容 | | |
| 第 1 回 | バイオメカニクス① | 〔開発〕 | |
| 第 2 回 | バイオメカニクス② | 〔開発〕 | |
| 第 3 回 | 立ち上がり/座り | 〔開発〕 | |
| 第 4 回 | 持ち上げ/トランスファー | 〔開発〕 | |
| 第 5 回 | 車椅子 | 〔開発〕 | |
| 第 6 回 | 臨床動作分析① | 〔開発〕 | |
| 第 7 回 | 臨床動作分析② | 〔開発〕 | |
| 第 8 回 | 臨床動作分析③ | 〔開発〕 | |
| 第 9 回 | 立位と歩き始め、歩行① | 〔落合〕 | |
| 第 10 回 | 立位と歩き始め、歩行② | 〔落合〕 | |
| 第 11 回 | 階段 | 〔落合〕 | |
| 第 12 回 | 動作分析演習① | 〔松田〕 | |
| 第 13 回 | 動作分析演習② | 〔松田〕 | |
| 第 14 回 | 動作分析演習③ | 〔松田〕 | |
| 第 15 回 | 動作分析演習④ | 〔松田〕 | |
| 評 価 方 法 | レポート等課題(100%)にて評価する。 | | |
| 教 科 書 参 考 図 書 | <p>〔教科書〕 介助にいかすバイオメカニクス (医学書院) 基礎運動学 (医歯薬出版) 標準理学療法学・作業療法学 作業療法評価学 (医学書院)</p> <p>〔参考図書〕 日常生活活動のキネシオロジー (医歯薬出版) 筋骨格系のキネシオロジー (医歯薬出版)</p> | | |
| 履 修 上 の 留 意 点 | 分析をするときは、それが出来る格好で受講してください | | |
| メ ッ セ ー ジ | 1年生で学んだ解剖学、生理学、運動学からどのように作業療法士が臨床の現場で応用していくのかについて考えます。十分な復習のもとでこの講義・演習に望むことを希望します。 | | |